※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の地理総合（帝国書院）、新高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、基礎的・基本的な地理事象を中心に学習を行います。
・授業は、教科書・プリント・画像・映像を使って行い、地理に興味を持てるように工夫していきます。

２　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（２）地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
（３） 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解している。 調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，多面的・多角的に考察している。 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身につけている。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムと現代世界	1節　地球儀と地図 1　地球上の位置と地上の現象 2　経度の違いと時差 3　球体と平面の世界 2節　地図と地理情報システム 1　地図の種類 2　地理情報システムの利用	a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて，地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や，地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや，地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	結びつきを深める現代世界	1節　現代世界の国家と領域 1　国家の領域と国境 2　地図から見る日本の位置と領域 2節　地図から見る国内や国家間の結びつき 1　グローバル化と多様な結びつき 2　拡大する貿易 3　世界を結ぶ交通・通信 4　観光と人の移動のグローバル化	a:世界を構成する国家の領域の定め方，地図を通して世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴を理解している。 国家の領域や世界の国々の結びつき，交通，通信，人の移動の特徴を見いだすための，読図の技能を身につけている。 b:国家の領域はどのように定められており，どのような領土問題があるのかや，世界の国々はどのように結びついており，どのような交通，通信，人の移動の特徴があるのかについて，地図を通して多面的・多角的に考察し，表現している。 c:国家の領域の定め方や領土問題，世界の国々の結びつき方，交通，通信，人の移動の特徴について，地図を通して主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	生活文化の多様性と国際理解	序説　生活文化の多様性 1　生活文化を考察する視点 1節　世界の地形と人々の生活 1　生活と地形の関わり 2　河川がつくる地形と人々の生活 3　海岸の地形と人々の生活 4　氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 1　生活と気候の関わり 2　熱帯の気候と人々の生活 3　乾燥帯の気候と人々の生活 4　温帯の気候と人々の生活 5　亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 3節　世界の産業と人々の生活 1　生活を支える農業の発展 2　生活を支える工業の発展 4節　世界の宗教・民族・言語と人々の生活 1　宗教・民族・言語の多様性 5節　多様な生活文化と地理的環境 1　国際理解を深めるために 2　世界からみた日本の生活文化	a：世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b：地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

2学期	生活文化の多様性と国際理解	①経済発展による生活文化の変化 –東アジア– ②他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 –東南アジア– ③ヒンドゥー教と生活文化の関わり –インド– ④乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 –中央アジア・西アジア・北アフリカ– ⑤植民地支配の歴史と生活文化の変化 –サハラ以南アフリカ– ⑥伝統の継承と生活文化の関わり –ヨーロッパ– ⑦寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 –ロシア– ⑧産業技術の発展と生活文化の関わり –アメリカ合衆国– ⑨開発の歴史と生活文化の関わり –ラテンアメリカ– ⑩結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 –オセアニア–	a:世界の多様な生活文化が，自然環境や社会環境を背景に，互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地形や気候，産業とその発展，歴史，人の移動，他地域との結びつきに着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:世界の多様な生活文化を尊重し，共生を図っていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	序説　複雑に絡み合う地球的課題 1節　人口問題 1　人口の増加と少子化・高齢化 2　地域で異なる人口問題と取り組み 2節　食料問題 1　飢餓と飽食 3節　都市・居住問題 1　都市への人口集中 2　地域で異なる都市・居住問題と取り組み 4節　感染症・衛生問題 1　広がる感染症と衛生問題 5節　資源・エネルギー問題 1　限りある資源・エネルギー 2　地域で異なる資源・エネルギー問題と取り組み 6節　地球環境問題 1　国境を越えて広がる地球環境問題 2　地球温暖化と国際的な取り組み	a:地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因，課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで，どのように生じているのかや，解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定期考査 思考表現問題	 思考表現問題 授業内活動

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	自然環境と防災	1節　日本の自然環境 1　日本の自然環境と人々の生活 2 節　地震･津波や火山活動による災害と防災 1　地震･津波のしくみと被害 2　地震･津波災害と地域の取り組み 3　火山の恵みと噴火による被害 4　火山災害と地域の取り組み 5　地震･津波や火山活動への対策と共生の道 3 節　気象災害と防災 1　さまざまな気象災害 2　気象災害と地域の取り組み 3　気象災害への対策と備え 4 節　自然災害への備え 1　減災への取り組みと被災地への支援	a:自然災害が生じる場所と要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 自然災害の発生場所や要因，日本の自然災害の特徴，生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための，地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや，日本の自然災害にはどのような特徴があるのか，どのような防災･減災への取り組みがなされているのかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり，人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定 期 考 査 思 考 表 現問題	思考表現問題 授業内活動
	生活圏の調査と地域の展望	1　地理的な調査テーマの設定 2　事前調査と現地調査 3　調査結果の分析と仮説の検証 4　調査結果のまとめと地域づくりへの参画	a:生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって，仮説の立て方や調査結果の検証の方法，発表のしかたについての技能を身につけている。 b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや，現地調査の結果をどのように分析･整理するのか，他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c:生活圏の調査の結果を地域に還元し，よりよい社会を築いていくことについて，主体的に追究し，課題を見いだしている。	定期考査	定 期 考 査 思 考 表 現問題	授業内活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度